

# 令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 今福小 学校
校長氏名	土本 悦子
作成日	令和2年 2月 28日

## 1 教育目標

健康で、豊かな情操と創造的実践力のある子供の育成

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力・学習状況調査、県学力到達度調査で正答率が県平均を上回る。</li> <li>○わかる授業、子供主体の授業を実践したと思う(児童・教師90%以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「私たちの道徳」「希望へのかけはし」の活用100%</li> <li>○いじめ解消率100%</li> <li>○学校が楽しいと感じる(児童90%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に運動を行うように計画し、実践した(教師90%)</li> <li>○朝ごはんを食べた(児童100%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の様子がよく伝わった(保護者90%)</li> <li>○近隣の幼・保育園や中学校と接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎・基本の確かな定着</li> <li>◎子供主体の授業の推進</li> <li>○家庭学習の定着</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳・人権教育の充実</li> <li>◎いじめの未然防止、早期発見</li> <li>○高学年をリーダーとした仲間づくりの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎体力向上の推進</li> <li>◎基本的生活習慣の確立</li> <li>○危機回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎家庭・地域との連携充実</li> <li>◎保幼少の接続、中学校区における学校間連携の推進</li> <li>○地域の人材・資源活用の推進</li> </ul>
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を意識して授業を行った</li> <li>○書くことを大切に、自分の考えを持ち発言できる授業作りを行った</li> <li>○保護者と協力しながら家庭学習の定着を図るよう努めた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「私たちの道徳」「希望へのかけはし」を活用して道徳の授業を行った</li> <li>○いじめアンケートを年間に3回以上実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた</li> <li>○縦割りによるなかよし活動等の充実を図り子供同士が関わる機会を増やすよう努めた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育学習において体づくり運動を充実させ、基礎体力が向上するように努めた</li> <li>○体力向上のため、縄跳び記録会等目標になる行事を行った</li> <li>○「早寝、早起き、朝ごはん」を意識させた</li> <li>○危機回避能力が身に付くよう、避難訓練や交通安全教室を計画的に行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校だより、学級だより、保健だより等を通して学校の情報を定期的に発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開した</li> <li>○いろいろな機会をとらえ、地域の方と交流した</li> <li>○意識的に保幼少の接続、中学校区での小中、小中の連携を行うよう取り組んだ</li> </ul>
取組の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>△全国学力・学習調査で国語は市の平均と同じ、県を2ポイント下回る。算数は市を7ポイント、県を8ポイント上回る。</li> <li>○自主学習など家庭学習の習慣が身に付きつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供の実態に即した道徳教育に取り組めた。</li> <li>○いじめアンケートや普段の子供の様子の観察、「今福の子供」の情報共有から、いじめのない学校作りに職員が一丸となって取り組めた。</li> <li>○縦割り活動のおかげで児童は学年を越えて仲がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△体育科研究に合わせ体力向上の取り組みを続けているが、持久力、柔軟性において県平均より低い結果となった。</li> <li>△アウトメディアの取り組みを行っているが、テレビの視聴ゲームの時間スマホ・携帯の使用時間は減らない。</li> <li>○地域と協力し、大津波発生時の避難訓練を実施することができた。子供たちに万が一のときの対応を考えさせる機会となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△学校評価アンケートの「学校は、学校の教育活動や子供の様子を、保護者にわかりやすく伝えられている」が82%で目標に届かなかった。</li> <li>○西和中学校との交流会や愛徳幼稚園との交流ができた。</li> </ul>
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の取り組みを継続して続ける。</li> <li>・校時表を見直し、基礎学力タイムを保障し学力向上を図る。</li> <li>・漢字の定着に向けて、漢字学習を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達が落ち着いて、仲良く過ごせるよう今までの取り組みを継続する。</li> <li>・子供の心を耕す道徳の授業に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育研究の中に意識して子供の体力向上につながる活動を入れていく。</li> <li>・子供だけでなく保護者にも基本的生活習慣の重要性を啓発していく。</li> <li>・引き続き避難訓練等を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより、学級だより、保健だよりの他、機会を見つけて学校の様子を伝えていく。可能であればホームページ等も利用する。</li> <li>・引き続き、中学校、幼稚園との交流をする。</li> </ul>

## 3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度、非常事態の職員の動きや学校の安全に対する設備等に課題が見つかった。安心・安全の学校づくりに取り組みたい。</li> </ul>
---